

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第 15 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時	平成 24 年 1 月 31 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分	場 所	木津川市役所第 2 北別館
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委 員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員 (副会長・議長)、 ■大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■永松迪哉委員、 □田中英治委員、 ■森岡宣之委員、 ■鶴岡由雄委員、 ■坂本利正委員、 ■中岡武司委員、 ■竹澤哲之委員</p> <p>【事業者】</p> <p>■小島弘義委員 ※代理：有松利幸 (西日本旅客鉄道株式会社大阪支社総務企画課)、 ■森本耕司委員 ※代理：岩崎正義 (近畿日本鉄道株式会社鉄道事業本部企画統括部営業企画部)、 ■川邊経恭委員、 ■津田秀夫委員、 ■菅沼道和委員、 □筒井基好委員、 ■梅田幹夫委員、 ■加藤 隆委員、 □矢吹卓大委員、 ■佃 寿己委員 ※代理：松石康志 (奈良交通労働組合 執行役員)、 ■石田忠男委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■西川孝秀委員、 ■足立高広委員、 □中安隆年委員、 ■辻村徳夫委員、 ■今西克禎委員、 ■今井一郎委員、 □河井規子委員 (会長)、 □田中達男委員、 ■藤林英和委員 ※代理：奈良由雄 (木津川市建設部次長)</p>	
事務局	鈴木市長公室長、尾崎理事、武田主幹、西村主任		
傍聴者	3 人		
議 題	<p>1. 開会</p> <p>2. 副会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について</p> <p>②平成 24 年 3 月ダイヤ改正及び平成 24 年度運行計画 (案)</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①ガイドライン・一日乗車券の検討状況について</p> <p>②実証運行の利用状況について</p> <p>(2) その他</p> <p>①今後の協議会運営及び市民代表の公募について</p> <p>②次回法定協議会の日程について</p> <p>③その他</p> <p>4. 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1. 開 会</p> <p>事務局より開会を宣言した。</p> <p>「幻の都・恭仁京と名宝・加茂の三塔を生かした民学官による観光まちづくりプロジェクト」で作成したツールが、社団法人日本都市計画学会「自治体まちづくりグッズ賞」で優秀賞を受賞したことを報告した。</p>		

	<p>2. 議長あいさつ 中川副会長より、開会にあたりあいさつがあった。</p> <p>3. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として、永松迪哉委員を指名した。</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について 「No.1 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について」及び「No.2 連携計画・総合事業計画の流れと評価実施の位置付け」を用いて、今年度事業の事後評価について提案し、指摘のあった箇所について修正し、事務局対応で近畿運輸局へ提出することとなった。</p> <p>②平成24年3月ダイヤ改正及び平成24年度運行計画（案） 「No.3 平成24年3月ダイヤ改正及び平成24年度運行計画（案）」を用いて、平成24年度運行計画（案）について提案し承認頂いた。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①ガイドライン・一日乗車券の検討状況について 「No.4 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインの検討」及び「No.5 一日乗車券の取り扱いについて（素案）」を用いて、ガイドライン・一日乗車券の検討状況について報告した。</p> <p>②実証運行の利用状況について 「No.6 木津・加茂・山城地域コミュニティバスの利用実態について」を用いて、実証運行の利用状況について報告した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①今後の協議会運営及び市民代表の公募について 「No.7 今後の協議会運営及び市民代表の公募について」を用いて、今後の協議会運営及び市民代表の公募について報告し、利用者・公募委員委員を除いた委員の方に、今後も継続して協議会委員に就任いただくことについて依頼した。</p> <p>②次回法定協議会の日程について 日程を調整する旨を説明した。</p> <p>③その他</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p>

2. 副会長あいさつ

会議結果要旨のとおり。

3. 議事

(1) 協議事項

①地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について

【配布資料】

- ・No.1 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について
- ・No.2 連携計画・総合事業計画の流れと評価実施の位置付け

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

- 資料 No.1 4 ページにおける実施結果・成果等について、利用者数推移のみの記載となっているが、「－」のところについても成果を記載したほうがよいのではないか。
 - ▶ 交通結節点・バス停等情報提供整備事業については、看板の設置やチラシ配布も実施している。そのあたりは成果として記載する。また、公共交通利用促進活動事業についても、公共交通だよりの発行に関する記載が可能である。様式の記載要領を確認し、可能であれば記載する。
- 公共交通だよりにについては発行部数等、数量化出来る部分を積極的に記載する方が良い。
 - ▶ 現在 27,000 部発行しており、記載を検討する。
- 木津地域における平成 23 年度の利用者減少について考えられる理由は何か。
 - ▶ 平成 21・22 年の利用者数減少については OD 調査結果より、買い物客の減少が原因であることが判明している。今年度はその後の推移を見守っている状況である。また買い物客の減少を受け、集客に向けた投げかけを大型店舗等に行っている。さらに一日乗車券の導入で運賃抵抗の減少についても期待している。
- 利用者の減少を見守っているというのはいりえない。また、記載が 4-11 月の数値となっているが、これはどのように指定があるのか？
 - ▶ 平成 23 年度については、平成 24 年 1 月までの事業実施状況で示すことになるため、容易に比較可能なよう 4-11 月の利用者を記載している。きのつバスの利用者は、平成 21 年度をピークとして以降、22 年度で 2 割減少となり、23 年度も減少しているという状況もあり、一日乗車券等や大型施設との取り組みについて検討等を行っている。
- 運賃収入はどうなっているのか？
 - ▶ 収支率は平成 21 年の約 3 割から平成 22 年は約 5 割にまで上昇している。
- 前回の二次評価では、運賃改定について「将来の事業継続に向けた英断である」という評価があったので、収支率のように、利用者以外にも効果が現れている項目があるのであれば、記載すべき。
 - ▶ 利用者数と合わせ、運賃収入額を記載することを検討する。

②平成 24 年 3 月ダイヤ改正及び平成 24 年度運行計画（案）

【配布資料】

- ・No. 3 平成 24 年 3 月ダイヤ改正及び平成 24 年度運行計画（案）
- ・参考資料 平成 24 年度春 J R 西日本・近鉄ダイヤ改正について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- JRダイヤ改正は、概要説明のとおりである。市からの調整案件については、現在検討中である。
- 近鉄の利用者数は平成 3 年から約 3 割減少しており、コスト削減を考慮し根本的に 2 年間にかけ検討させていただいた結果、このような内容となっている。なお、ラッシュ時等は考慮しており、理解いただきたい。

- 資料 No. 3 について、具体的にどう変わるのかがよくわからない。かなりダイヤが変わることも予想されるのではないかと。
- ▶ 具体的なダイヤはまだ組めていない。しかし、例えば近鉄山田川駅では、変更後の電車でできるだけバスを接続させたい。また、JR については、これまで片町線と奈良線みやこ路快速が同時発車の時間帯であり、そちらに接続していたが、今後は奈良線については各駅停車に接続せざるを得ない。奈良方面については、大和路線・奈良線共に一定の本数が確保されている。

- きのつバスのダイヤはそれほどかわらないということか。山城線はどうなるのか。
- ▶ 鉄道の時分が大幅に変更されている箇所を除き、多少前後はするが大きく変わらないと考えている。山城線については、木津駅で電車の発時間が集中している所とバスとの接続を合わせていきたい。なお、奈良線については、木津駅から各駅停車京都行きに乗り換えて頂き、宇治のみやこ路快速に乗り換えることになる。これまで山城線は、大和路快速大阪行や片町線との接続を最優先に考えていたが、その優先順位を変更する予定はない。
- それらを想定した場合、今からでダイヤ改正が間に合うのか
- ▶ ダイヤ改正は 3 月 20 日を想定している。鉄道会社から資料を頂き、それを基にバス事業者からのダイヤ素案の提案を待っている状況である。
- 事業者からダイヤの提案があるまで待っているのか。少しでも早急に進めなければならないのでは。
- ▶ 素案作成に先立ち、既に事務局からダイヤに関する要望は行っている。
- ダイヤは公共交通の命なので、早急に対応し、慎重に検討を進めるべきである。
- ▶ 既に打合わせは行なっている。早急に進めていく。3 月 20 日に向けて、現行ダイヤを基準とし、一部修正に留める方向である。

（2）報告事項

①ガイドライン・一日乗車券の検討状況について

【配布資料】

- ・No. 4 コミュニティバス等の持続可能な運行のためのガイドラインの検討

・No.5 一日乗車券の取り扱いについて（素案）

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

○ 一日乗車券について、車内販売は差し控えて頂きたい。5枚単位での販売で1,000円札での対応が可能とのことだが、安全運行に差支えがある可能性があることは控えたい。時間や場所については協議していただきたい。

②実証運行の利用状況について

【配布資料】

・No.6 木津・加茂・山城地域コミュニティバスの利用実態について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

○ 特に山城線について、大変素晴らしい数値である。引き続き取組んでいくことが重要である。

（3）その他

①今後の協議会運営及び市民代表の公募について

・No.7 今後の協議会運営及び市民代表の公募について

・参考資料 地域公共交通確保維持改善事業について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

会議結果要旨のとおり。

②次回法定協議会の日程について

後日文書で通知。

③その他

会議結果要旨のとおり。

4. 閉会

会議結果要旨のとおり。

以上。

その他
特記事項